

ABSTRACT OF THE DISCLOSURE

穿刺部材は、先端側に向けて開口する開口部を有しており、その開口部と内視鏡先端と保持部材に囲まれた処置用空間を形成しており、把持部材は、処置用空間を通して開口部から突没可能となっており、穿刺部材は、内視鏡の長手方向に対して横断する方向に処置用空間を移動可能となっている。